

令和元年度(2019年度)第8回三者懇談会(吹田保育園)

- 1 開催日時 令和元年9月13日(金) 午後6時35分～午後8時15分
- 2 開催場所 吹田保育園 遊戯室
- 3 出席者 吹田保育園保護者会会長、その他保護者15名
社会福祉法人こばと会(こばと会理事長、こばと会理事、吹田保育園長、
その他吹田保育園職員4名)
吹田市児童部保育幼稚園室(保育幼稚園室長、保育幼稚園室参事、保育
幼稚園室主幹2名、保育幼稚園室主任2名、保育幼稚園室係員、吹一保
育園保育士、東保育園保育士)
- 4 議 題
 - 1 引継ぎ保育について
 - 2 保育料無償化に伴う給食費及び延長保育料について
 - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第8回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様を御紹介させていただきます。

(出席者紹介)

3 引継ぎ保育について

吹田市： 吹田保育園は、本年4月に社会福祉法人こばと会に移管されました。保育内容等の引継ぎ状況を確認するため、現在引継ぎ保育を実施しているところです。本日は、引継ぎ保育の担当保育士が参加しておりますので、引継ぎ保育の状況について御報告を行います。

吹田市：（平野元園長代理）引継ぎ保育について御報告させていただきます。去年度、こばと会の職員の方に合同保育の1年間で一緒に保育していただき、吹田保育園の保育内容を知っていただきました。特に1月からの3か月間は各クラスの合同保育の職員の方にはまずは園児たちとの関係を大事にしてもらい、保育をしていただきました。そして、アルバイト、パートの先生たちにたくさん残っていただけたことは本当に良かったと思っています。今年度、こばと会の運営する吹田保育園になってからの引継ぎ保育では、1か月間の引継ぎで看護師の1名と用務員の1名、3か月間の引継ぎで保育士の1名、6か月間の引継ぎで保育士の2名、1年間の引継ぎで元園長代理が担当しております。移管後の保育について一緒に保育する中で、気づいたことを伝えたり、引継ぎ会議や園の職員と話し合ったりして、一緒に進めてきています。

運営面の保育内容では公立と同じように、まず目の前の子供たちやクラス集団の姿から保育をする中で大事にしたいことなどを確認しました。保育の進め方は同じで、リズム遊びや歌なども変わりありません。吹田保育園では食育にずっとこだわってきました。保育参観でも食育のことをお話していただき、こばと会になっても取り組んでいただけていると思います。

4月当初は新しい職員が増えて、職員集団の中で職員同士のコミュニケーションがうまく図れなくて、当番時間などで少し混乱してしまうことがあったと思います。しかし、そういった中でもパートの方がたくさん残っていただいたので、積極的にこばと会の先生方にアドバイスをいただきました。また、園長や副園長と話をし、スムーズにいくように関わっていただいたと思います。前日にあったことを次の日にうまく報告・連絡・相談ができていないことで、引継ぎができず、保護者の方に御迷惑をおかけしたケースがあったと思います。改善策として、朝会などでしっかりと確認してコミュニケーションを図っていただき、周知できるように考えていただきました。

園児の中には環境の変化がすごく苦手な子がいて、不安な姿もあったかなと思いますが、そこは不安を解消ができるように引継ぎ職員が保育のサポートをしました。いろいろな行事については、これまでの経過や取組み内容などを早めにお伝えをして進めていけるようにしておりました。しかし、行事によっては言葉だけの伝達になり、イメージを共有できないままでスムーズにいかなかったところがあり、こばと会に負担をかけることがあったと思います。行事が終わるたびに反省を一緒に出し合って、今後は経験を積み重ねていただければと思います。

地域や保健のことなどですぐにお答えできないことは引継ぎ職員だけではなく、今まで吹田保育園に関わっていた職員にも聞いて、みんなに確認しながらお伝えしております。

保護者との連携では、保護者の方には気付きを直接園長先生にいっぱい伝えてもらえているので、園との関係づくりを保護者の方からも持っていただけていると思っています。また、こばと会の先生方にも一生懸命考えていただいていると思います。ありがとうございます。これからも保育所の子供たちが毎日楽しく過ごせるようにしていきたいなと思っています。

吹田市：（渡辺保育士）乳児クラスには、4月からの3か月間、他の引継ぎ職員とともに保育の引継ぎを行ってまいりました。4月は混乱期と呼ばれる時期であるため、まずはこばと会の先生方とともに新しいクラスに入り、保育を作ってきました。主に入るクラスの期間を決めて、毎日一緒に過ごす中で疑問に思うことはお互いに出し合って相談しながら保育を進めてまいりました。これまでに大事してきたことや工夫していたことを引き継ぎするだけではなくて、こばと会の保育の仕方などについても話し合ってきました。園児を中心にこばと会の先生方と、安全に楽しく遊べる保育を模索してきたと思います。

他のクラスに入ってもこばと会の先生方と気兼ねなくいろいろなことをしっかりとお話ができたので、この半年間はよかったと思います。そんな積み重ねから、4月は園児たちが引継ぎ職員に視線を向けていましたが、今はこばと会の先生たちにとっても信頼をおいております。そんな姿を見て、丁寧に保育をしていただいているので、引継ぎ職員としてとても嬉しく思っています。

乳児クラスだけではなくて、全てのクラスに入らせていただいて、至らない点や自分の立ち位置を悩みながらの引継ぎ保育ではありましたが、毎日子供たちや保護者の方たちの笑顔が私の原動力でした。ありがとうございました。

吹田市：（長谷川保育士）私は主に幼児クラスに入ってから引継ぎをしてきました。去年度の3か月間に合同保育で入ってくださった先生やアルバイトで残ってくださった先生が持ち上がり、顔なじみということでは大きな混乱はなかったかなと思っています。しかし、正規職員として初めて働く先生や吹田保育園で一年間働くことは初めての先生がほとんどでしたので、一緒にクラスに入ったり、クラス会議にも一緒に参加したりして、保育のことなどを伝えました。幼児クラスになる

と行事が多く、特に5歳児は一泊保育などの大きな行事があります。新しい先生にとっては初めての経験になるので、中身やその行事に向かっていく気持ちなどを丁寧に伝えたり、一緒に考えたりしてきました。クラス集団の雰囲気などで保育の仕方が違ったやり方があるので、こんな方法もあるよとアドバイスはしてきました。今は運動会に向かって園児たちが張り切っていて、毎日細かくこういう風にやったほうがいいよ、こういうのはそろそろ子供に伝えていった方がいいよと言いながら取組みを進めております。

9月末までで引継ぎ保育は終わってしまいますが、子供たちと楽しく自信を持って運動会を迎えるようにできたらなと思っています。6か月間の引継ぎ保育は気づいたらあっという間でしたが、どう伝えていったらいいのかを悩んだり、至らない点もたくさんあったりしたと思います。しかし、保護者の方の協力もあってここまで引き継げたと思います。今までありがとうございました。また、これからも子供たちのことは見守っていきたいなと思います。

4 保育料無償化に伴う給食費及び延長保育料について

吹田市： こばと会から、幼児教育の無償化に伴う給食費及び延長保育料について、御報告がございました。

こばと会： 消費税増税を財源とした3歳児からの保育料無償化が10月から始まります。3歳になったら無償ではなくて、3歳児クラスに進級したら無償になるということが決まっております。無償化は嬉しいことですが、保育料が高くかかっている乳児の保育料無償化をして欲しかったです。また、完全無償化として働くお父さんやお母さんを支えるために延長保育料などを無償にして欲しい、消費税を上げないで欲しいと思います。

これまで主食費は3歳児から保護者負担でいただいておりますが、副食費はそうではありませんでした。しかし、国では副食費について、御家庭にいるお子さんは家でご飯を食べているのに保育所、幼稚園に行っているお子さんだけ無償になるのは不公平ということで有償になることが決まりました。私どもとしては給食というのは、保育の一環であるし一日を通して保育所で過ごす園児の食育に関わるので、有償にしないで欲しかったのですが、国で決定したことであるため、吹田保育園も副食費を保護者負担で徴収させていただくということで金額を設定させてもらっています。この副食費につきましては新たに吹田保育園の収入が増

えるということではなく、今まで給食の副食費として行政からいただいていた公定価格、定められた運営費が減額されますので法人として利益が出る実費徴収ではないことを御理解いただきたいと思います。

その金額については国から副食費を月に4,500円を目安に保護者の皆さんから徴収してくださいと通知を受けて、吹田保育園を含め、公立保育所や多くの私立保育所も4,500円をお願いしておりました。しかし、改めて国から通知がありまして、4,500円の設定から月日が経って物価が上がったりしているということで、今年度については公定価格の中では副食費は5,181円で設定して園にお支払いしているということでした。そのため、10月からは3歳児クラス以上の園児については一人あたり月額5,181円を減額しますということになり、吹田保育園の収入が月に681円減ることになります。**※1**

吹田保育園の保護者の皆さんには、10月から3歳児クラス以上のクラスについては月額4,500円をお願いしたいと思っています。生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯は吹田市から免除通知が届き、4,500円を支払う必要はないですと吹田市から説明を受けております。

2つ目に、延長保育料は無償化の対象外で今まで通り徴収となります。しかし、現在短時間認定の方については、7時半から9時、17時から18時30分に保育を利用された場合、今までは標準時間の保育料との差額だけを公立保育所や吹田保育園では徴収していましたが、差額がなくなってしまいます。そのため、短時間認定の園児が7時半から9時、17時から18時30分の保育を利用された場合、スポット利用で一回200円、それぞれの時間帯で月2,600円を上限で徴収させてもらうということになります。育児休暇等で短時間認定になれる世帯は、そういうことを御理解いただきたいと思います。

3つ目は、主食費について、お願いがあります。現在、主食費は公立と同じ金額の800円を引き継いでおりましたが、こばと会の運営する保育所とは給食に使える費用が違うために一品減らした内容で、この半年運営しておりました。基本的な献立はこばと会の他園と同じ内容です。国は主食費を3,000円で想定してやっているということも明らかになりましたので、3歳児クラスからの主食費を月800円から月1,500円に変更させていただきたいです。その代わりにこばと会の他園で提供する給食と同じように副菜を一品増やして提供させていただきたいと思います。ただし、これにつきましても生活保護世帯、市町村民税非課税世帯の方については、保育料無償化になったのに負担が増えることのないよう

に、こばと会の法人減免という形で従前どおり月800円で対応させていただければと思います。費用が上がることで利益を出すのではなく、給食の内容を充実させて、酢の物などを提供して園児の味覚を育てていきたいと思いますので御理解をよろしくお願いします。

5 質疑応答

吹田市： 保護者の方から御質問や御意見をお伺いしたいと思います。

保護者： 保育料無償化に伴い主食費を700円上げる理由を知りたいです。園児たちの給食が充実することはいいことですが、量が増えて残飯が増えるようであれば、もったいないなと思っている御家庭の方がおられるみたいですので。

こばと会： 全体の食べる量が増える訳ではありません。副食費を有償化して実費徴収することには問題があって、3歳児と5歳児では食べる量が違うのに、同じ4,500円を目安に集めてくださいというのは、実際自分が食べたものを払っているという考えにはならないです。少食の子やすぐく食べる子もいるので、食べる量に結構差があり、追及すれば平等ではなくて、ただ単に、今まで4,500円を公定価格からもらっていた分をもらえなくなるからもらうということです。保育所でもらっている運営費の中から4,500円が削られるのではなくて、5,181円が削られます。副食費の5,181円と主食代の800円をいただいたら5,981円になり、今度、主食代を値上げさせていただいて、6,000円徴収させていただきますので、プラス19円の園は収入が増えることにはなりません。しかし、値上げをしたからといって保育所の経営が楽になることということではありません。マイナスになる分を何とか補填しないと経営が苦しくなって、必要な修繕の積み立てとか、職員をしっかりと確保して職員体制を組むということができなくなります。保育所は経営努力で収入を増やすことができないので、園児をお預かりして、その分の補助金などをいただいて、節約しながら運営しております。収入が減ったら何かを削らないと赤字になるので、それを防ぐための苦肉の策です。給食自体は副菜を増やして、酢の物を出すとか、いろんなところで充実を図っていききたいので御理解をいただきたいです。

保護者： 年齢によって、食事量が違うと思います。4歳児クラスと5歳児クラスの園児が3歳児クラスに給食をもらいに来たりするのが現状らしいです。私も残飯とい

うのが正直気になります。

あと他の保護者から、食事の味付けがちょっと薄味で食べない子もいるということを知りました。副菜を増やすのではなくて、味を充実させて、みんなが美味しく食べられるようになってから、増やした方がいいのではないかという意見もいただいています。

こばと会： 残飯の状況を御報告させていただきます。こばと会の給食になって、食べるかどうかを心配していましたが、吹田保育園の子はよく食べるので、残飯がありません。

こばと会： 味の感覚は、個人差があると思います。ましてや、人が作るものですから、ちょっと味が薄いとか、今日はすごくだしが効いていて美味しいとか、そういったことがありますので、その都度検食簿に書いて話し合っております。

こばと会の既存の3園は福祉サービス第三者評価というのを受けていたり、保護者のアンケートを毎年実施したりしています。南保育園では、民営化の検証というのがあって、今年の3月に1年間こばと会の保育を受けてということで、保護者アンケートを吹田市で実施しました。概ね一番評価が高いのが、給食についてです。保護者の方もお帰りの際に御覧いただけますし、試食会等も開催したからだと思います。今後も味の充実をさらにしていきたいと思っています。

保護者： 私の息子に給食のことを聞いた時に、じゃがいもが土の味がすると話していました。要は薄いということだと思います。たぶん家庭によっても味は違うと思うので、それはわからなくもないなと思います。

こばと会： 園児の給食を食べている姿を見ると、野菜が苦手な子とかがいますが、励ましたりするとしっかりと食べられたりします。

5月の保育参観後に、カレーライスと切干し大根のサラダを試食いただきました。保護者の方の感想はとてもよくて、「今まで食材を小さくしていたけれども、食材を大きくしても、しっかり食べられる」という感想をいただきました。小さいクラスのお父さんとかには、「先生、売れるよ!」とおっしゃっていただき、保護者の方に試食いただいてよかったなと思います。給食の量が足りないこともあり、カレーライスの時には園児はよく食べるので、鍋が空になります。1品増

えることにより、肉じゃがと酢の物、肉じゃがとお浸しという感じで主菜と副菜になり、味覚を育てることやいろいろな味に園児たちに出会ってもらえると思います。今のところ残飯はあまりありませんので、今後は主菜と副菜の量やエネルギーなども考えて、残飯が出ないようにしたいと思います。

こばと会： 私は去年の合同保育からずっと見ています。ルーから手作りのカレーライスやしょうがご飯とか、今まで公立では出たことのない青じそなどの食材が給食で出てきます。2歳児・3歳児であれば、初めて味見するものを残すことがありますが、2回目に出ると次々に食べてくれます。園児は食べ慣れていくのが早いなと思います。もし、残ったりしていたら、何歳児は食べにくかったということも把握して、給食の先生は調理や味などを工夫しています。食べている姿をしっかりと見たり、園児の声を聴いたりして、給食にはすごく力を入れています。

保護者： 公立も吹田保育園と同じ価格設定ですか。

吹田市： 主食費は800円で副食費は4,500円で合わせて、5,300円で徴収します。

保護者： 3点あって、1つ目は保育の無償化で、副食費が無償化から対象外となっています。家で子供と給食でこういうのを食べたとか話をします。給食をみんなで揃って食べることで好き嫌いを克服したり、いろいろなマナーを学んだりすると思いますので、給食は保育にとってすごく大事な役割を果たしていると思います。先ほどの話で公立時代も食育を大事にされてきたという話がありました。こばと会で給食について、どう考えているかをお聞きしたいです。

2つ目は副食費の徴収を私立保育所では園で徴収することになり、事務の負担が出てくるとは思いますが大丈夫なのかなと思います。

3つ目は副食費を無償化から外すということについて、吹田市で国に何か求めているのかをお尋ねしたいです。

こばと会： 給食に対するこばと会の考え方について、お話をします。もう歴史は50年になり、最初から給食についてはおやつも含めて手作りで、カレーは既成のルーを使いません。保育の中で給食というのは、大きな役割を持っています。0歳児から5歳児までの園児の体づくりのために食べるということを非常に大事にしています。

そこは、保護者の方にも御理解していただいて、費用も払っていただいて、全部手作りでやりましょうということで進み、吹田市からの補助金があり、給食を作る人件費等に充てながら、給食を良くしてきましたので、本当に自信があります。

南保育園のアンケートの中でも給食は本当によかったという結果で出ております。

こばと会： 副食費の徴収により業務が増えて負担になります。それ以外にも延長保育料が変更になったり、いろいろな助成金の申請などであったり、保育所の事務量は膨大に増えております。しかし、新たにアルバイトやパートを雇用する予算はありませんので、管理職で対応していこうと考えております。また、現金のやり取りになりますので、事務員に早めに出勤してもらうなどの体制を考えております。

こばと会： 保護者の方から保育料以外の費用について、銀行引き落としでして欲しいと御意見が出ておりますので、手数料は園負担になりますが、今後検討しないといけないと思っています。

吹田市： 幼児教育・保育の無償化は、2020年度から始まる予定でした。しかし、消費税の増税に合わせて、前倒しで実施していくことが決まり、急いで進めてきました。給食費が無償化の対象外になる国の理由は、家庭や教育・保育施設にいるお子さんも食事は食べていて、どこにいても食費がかかるため、今回の無償化の対象からは外しますという説明でした。今までは保育所では3歳児以降の主食費だけをいただいていた、副食費は保育料に含まれていました。一方で私立幼稚園の多くが、副食費も含めて給食費を別途徴収しているケースが多いです。施設によって、徴収のあり方が違うところを国が合わせにきたという経緯があります。

子ども・子育て支援新制度は介護保険制度をベースに国が作成しており、いろいろな議論があって、給食費が対象外になった経過があることを知っていただければと思います。

食というのは生きる中で一番ベースになるため、保育所や幼稚園で生活する中でも食育を非常に大事にしていると思います。副食費が無償化から外れたことについては、恐らく保育事業者の団体なども、ずっと国に訴えてこられたと思います。吹田市からそういったことを国に出していることはありません。実際に子ども

も・子育て支援法が改正されたのがGW明けです。そこから、詳細が下りてきて、保護者の皆さんにこういう形でお伝えしております。一方で事業者にも制度内容をお伝えして進めているところです。国への要望については、他の自治体とも話をしていきたいと思います。基本的には国が下ろしてきている制度なので、市町村の裁量の中でできるということは限定的であるということは御理解いただきたいと思います。

保護者： 主食費を700円上げて、副菜を増やすことはすごくいいなと思います。子供の意見も大事にしたいと思っていて、私の子供は保育所の給食をいっぱい食べます。家では食べない野菜もしっかり食べていると先生から聞いていて、嬉しく思っております。食育の面では、子供の食べる感覚が研ぎ澄まされるので、すごくいいなと思っています。今の子供は家庭や外食、お菓子などを含めて味の濃いものを食べています。そのため、保育所の給食を食べる時に味が薄いと思う子供がいるのかなと思います。また、保育参観でカレーを食べた時に私の周りの保護者の方も薄いと言っていました。私はすごく美味しかったです。カレーという意識で食べるから、カレーじゃないと思ってしまいます。ケチャップと他の調味料を混ぜて、カレーのルーのイメージを持って食べると薄いと思いますが、保育所の作っているカレーだと思って食べれば、すごく美味しいです。切干し大根に至っては、私はすごくいいと個人的に思っています。いい給食を提供してくれているなと思っています。個人差はあると思いますが、外ではあまり薄味のもを提供していないので、保育所で味覚をリセットできると思います。じゃがいもを食べて、土の味がするのは素材な味が活かされて、すごく舌が研ぎ澄まされているのかなと思います。

食欲は、子供にとってもすごく大事だと思っています。給食が美味しくないから、行きたくないという子はいないと思うので、こばと会の作っていただいている給食は、すごく美味しくいただいているのかなと思っています。

保護者： 平日のご飯は全部手作りで家でも薄味ですので、こばと会の給食を美味しいと言って、たくさん食べています。薄味の方が味に敏感になるし、将来もしかしたら、コックなどになる子供が出るかもしれないので、否定的ではありません。

味の話になると人の味覚、嗜好になりますので、全員がまずいと言っているのであれば問題ですが、そのあたりは話し合って改善していけたらいいのかなと思

います。

保護者： 私の子供は長い間入院していた時があったので、薄味には慣れていると思います。だから、たぶん素朴に土の味という表現をしていたと思います。

ただ、他の保護者の方が言うには、まばらな味がする時もあるらしく、味の加減などがあると思うので、そこは何とかできればなと思っています。

こばと会： 給食室には経験豊富な職員もいますが、新たに雇用をさせてもらった職員もいますので、そのあたりはもう少し味つけの仕方とかを伝えていって、改善できるところはしていけたらと思っています。

こばと会： ジャがいもの話がありましたが園児は正直だと思っています。仕入れる食材によって美味しくなかったということもあります。そのため、仕入れの業者には、新鮮なものを持ってきて欲しいとお願いしたり、仕入れ先を変えてもらったりして、いろいろな努力をしてもらっております。

栄養士によって味付けが少し変わって、味が薄いこともあります。そのあたりはできるだけ、みんなで味見をして調整をしながら、園児たちが本当に喜ぶ良い給食を提供できるように頑張っていきたいと思っています。

こばと会： 各年齢によって体つきが違うので給食の量に差があると思います。時々、他のクラスからご飯はありますかとか、野菜はありますかとか聞かれます。2歳児や3歳児は、味覚が研ぎ澄まされてきているので、好き嫌いがあり、食べたり食べないものがあったりする発達段階にあると思います。一方で、5歳児はいっぱい食べるという姿に段々となっているので、年齢の発達段階に応じて、食べる量が増えるなと思います。そういう姿と金額を照らし合わせると、どうしても矛盾が生じ、うまく埋められないというところがあります。

職員の中でもこの前と少し味が微妙に違うなという時があります。もう少しこうしたら味がよかったかなとか、大きさはこんなだったらよかったかなと思うことがあるので、職員の中で模索して話す機会を作っていけたらと思います。

こばと会： 栄養士が月に1回集まって、前月の反省と新しい献立の会議をして、あの献立は園児が喜んでいたなどを話し合っていますので、そこは御安心ください。

こばと会： 副食費が発生することにより、土曜日に預けてない分の費用を引いて欲しいとか思ってしまうかもしれません。しかし、そこを追求していくと土曜日だけ別途料金をいただきますとか、土曜日はお弁当にしますということになり、最終的に介護保険などと一緒で実食分だけを支払うということになってしまいます。給食費がそういう考え方になると保育の他の費用も利益を受けた分だけ自己負担でということになってしまいます。同じ保育を受けて、同じ給食を食べて、一緒に育っていくということが保育の考え方だと思います。そのため、こばと会の園では職員と保護者の皆さんで、利益を受けた分だけ費用を徴収するということにならないように、考えを一致させていきたいと思っています。

保護者： 他のクラスに給食をもらいに行くやり取りも含めて、同じものをみんなで食べているからできることであって、一部の保護者だけが弁当を持っていかせるという話になってしまうと、どんどん崩れていくと思うので、どうなのかなと思います。

こばと会： こばと会で運営しているデイサービスでは、お昼ご飯を食べた場合、介護保険の負担とは別に費用を支払ってもらうことになるので、利用者の中にはお昼ご飯を食べない方もいます。

保護者： 主食費を上げることに今のところ反対の声はないと思います。反対の声が出てきたら、年齢によって費用を変えたらいいのではないかと思います。

保護者： 1人につき毎月6,000円を徴収すると思いますが、2人目以降に減免などありませんか。年子の子とか双子の子とか、クラスによってはいると思います。2人分の給食費となると毎月12,000円を支払うことになり、そうなったら負担になると思います。

こばと会： 今のところ、法人の会議ではそこまでの減免は考えていませんが、先ほども申しましたとおり、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方については、主食費を法人で800円に据え置き減免ということで決定させていただいています。

保護者： 2人の子供を保育所に預けているから、来年になったら毎月12,000円になると考えたら、ソッとします。

保護者： 保育料を払っていたことを考えたら、前向きに考えた方がいいと思います。

保護者： おっしゃっていた物価の上昇や公定価格の減少している中で、副食費を4,500円に設定して、差額をこばと会が負担するというのはおかしいと思います。物価が上がった場合には、親も責任をもって払っていく努力をしないといけないのかなと思っていますので、給食費を上げることはしょうがないと思います。こばと会が負担することによって保育に支障が出る方が私は心配です。

こばと会： 消費税が10%になることで支出が増えていくと思います。そのあたりはこばと会で統一献立ができるので、仕入れを一括してコストを下げたり、いろいろ考えたりしながら少しでも抑えて、給食の質を落とさないように努力していきたいと思っています。

吹田市： おっしゃっているように681円の差が出ますが、国はその差額を栄養管理加算とチーム保育推進加算を拡充して埋めていただきたいという方針を出しております。しかし、加算が取れるかどうかはわかりません。

南保育園の保護者アンケートにおける給食の満足度は非常に高いです。全体的に見ると満足とやや満足と回答している方が82%、普通と回答している方が11%、それ以外に未回答の方が5%ですので、実際は約98%の方が満足されていると思います。また、自由記載でも非常に満足されているとか、おいしいですなどと書いておられます。このアンケートは保護者の方が回答していますが、園児の食べている状態をみれば、満足していると実感があります。保護者アンケートの結果報告書は吹田市のホームページに掲載しておりますので、御覧いただけたらと思います。全部で100ページくらいあります。

保護者： 吹田保育園や公立保育所でも頑張っていたきたいです。

吹田市： 民営化を通じて保育士や調理員などが公立と私立でいろいろな交流があって、そこでお互いに学んでレベルを高めていると思います。私立になろうが、公立で

あろうが同じ吹田市の子供たちに保育をしていくので、前向きに民営化を捉えて
いただきたいなと思います。

保護者： 主食費の支払いする場合、半年分を一括払ってきたと思いますが、副食費を支
払う場合には半年分を一括払うことができますか。

こばと会： 南保育園では三者懇談会を終えて、給食費の金額を6,000円で了解いただい
ておりますので、支払いについては月々でも、半年分を一括払いで納めていただい
ても構わないですとお伝えしております。一括払いにするか、月々にするかという
申込書を南保育園では、配付させていただき、お支払いいただく期間をお伝えして
いきます。先ほど事務のことをおっしゃっていただきましたが、朝の送迎時間にお
つりを用意するのはとても大変ですので、一定の支払期間を設けて事務所の体制を
整えて対応いたします。

保護者： 公立の時には給食の量が少ないなと思っていましたが、今はそういっ
たことがなくなって感謝しています。

こばと会： 2歳児と5歳児の食べる量は全然違いますが、いずれ年齢が上がるにつれて、
たくさん食べますので、年齢によって変わることは仕方ないと思います。

保護者： 事務処理について、保育所は結構手書きが多いです。手書きの温かさがありま
すがもっと電子化を進めていけば、事務員を新たに雇うことがなくなると思いま
すので、その点についてはどのように考えてらっしゃいますか。

こばと会： 今できている範囲のことでいいますと、給与は給与ソフトを導入しており、最
終的に本部でやっております。こばと会の全園でネット環境が繋がっていて、いろ
いろな事務の効率化をできるシステムを吹田保育園の開園までに構築しています。
まだ活用しきれてないこともあります。法人が大きくなってきていますので、更
に効率化を図っていきます。

保護者： 先生一人ひとりに係る仕事が多いなと思っていますので、ソフトとか導入して
少しでも先生の負担を軽減してもらえたらいいなと思っています。

こばと会： 0歳児のうつぶせ寝による死亡（乳幼児突然死症候群（SIDS））を防ぐために、寝ている向きを職員が確認して記録するのではなく、システムを導入して職員の負担を軽減しています。医療用のセンサーを付けて決められた時間に、寝ている向きをiPadに転送して自動的に記録をつけております。うつぶせ寝が続いた場合はアラームが鳴ります。

保護者： 本日、三者懇談会に出席してなぜ給食費が値上がりするのか根拠が知れてとてもよかったです。先日配布された文書では、根拠がわかりにくかったので、本日出席していない方にもわかりやすい文書で配布された方が保護者の皆さんに納得いただけたと思いました。

こばと会： クラス懇談会などで説明させていただきたいと思います。

保護者： 1つ目は心配していたように移管直後に保育士の1人がいなくなってしまうので、補充状況や今後の対策などを教えていただきたいです。

2つ目が、各クラスで実施するイベントの行事連絡が遅い時があります。竹馬の行事の時に2週間前に連絡が来たので、調整できませんでした。少なくとも1か月以上前に連絡をして欲しいです。

最後に、兄弟・姉妹を吹田保育園に預けていて公立の行事等に詳しい親がいるので、お兄ちゃんやお姉ちゃんの時と違うという声が出てくるかもしれません。引継ぎ職員がいなくなってしまうとこばと会の先生たちが判断していくことになるので、今後は行事とかを経験した親にどうしていましたかと聞いた方がいいのかなと思いました。そうしないと、こばと会の先生たちが必至で考えて実施するのに、前と違うとなるのも嫌だし、保護者の意見も少し取り入れながらしていった方がいいかなと思います。

こばと会： 職員の補充状況については、さくら保育園とさくらんぼ保育園から応援をいただき、欠員にならずに保育をしております。新卒の保育士採用は他の法人に比べると順調で、既に10人の方に内定を出しています。年度途中の採用は募集をかけていますが、採用が難しい時期にあるかなと思っていますので、応募が増える冬の時期に広告費などをかけて採用していきます。

こばと会： 行事のことについては、他の保護者の方からも連絡が遅いと言われていたもので、今後はもっと早くお知らせできるように努力していきたいと思っています。

行事の引継ぎにつきましては、恐らく竹馬づくりのことだと思えます。引継ぎ職員の先生からいろいろなことを聞いておりましたが、担任の説明不足があったと思いますし、もっと保護者の方に頼ってもいいのかなと思います。9月末で2人の引継ぎ職員の先生が自分の園に戻ってしまうので不安はありますが、吹田保育園にずっと預けてこられている保護者の方などに教えてもらい、いろいろな支援をしていただきながらやっていきたいと思っています。

民営化ということで私たちも名古屋で民営化された園の本を今夏に読んで、民営化ってどんなことだろうと考えました。5歳児クラスは残りわずかですが、園児も保護者の方もよかったと思ってもらえるように、保護者の方にいろいろなことを聞きながら保育を頑張っていきたいと思っています。また、他のクラスの保護者の方も疑問に思うことや意見などがあれば担任や園長などに言っていただければ、みんなで考えて対応していきたいと思っています。

保護者： 民営化に関わらず、吹田市全体の保育を良くしていくために私立と公立の先生方の交流や会議はありますか。

吹田市： 小規模保育事業所や認可外保育施設も含めて行っています。

保護者： 保育料は多子軽減で2人目は半額、3人目以降は無料と今なっていると思いますが、無償化になった場合に3歳未満の子はどうなりますか。

吹田市： 就学前の児童は上の子から第1子・第2子・第3子と考えるので同じです。3歳児から5歳児は無償です。0歳児から2歳児は第2子であれば半額、第3子であれば無償です。

吹田市： 最後に一点御報告がございます。公立保育所の民営化につきましては、3か年で5園の民営化をするということで、南保育園が平成30年度、吹田保育園と藤白台保育園が平成31年度に移管をすでに終わっています。来年度の令和2年度に岸部保育園と西山田保育園を移管する予定でした。しかし、ホームページ等で

も御覧になっているかもしれませんが、西山田保育園は今度の9月議会で公立から民間へ移管するという事で廃止条例を提案する一方で、岸部保育園は8月1日付で事業者との協定を市が解除いたしましたので、来年度民営化するという事はなくなりました。私どもが考えている対応を事業者がちゃんとしていただけなかったために、市から協定を解除して移管先事業者でないようにしたということです。詳しくは岸部保育園で7月30日と8月3日に開催した説明会概要をホームページに掲載しておりますので御覧ください。岸部保育園について来年度は吹田市立で運営しますが、民営化の計画がなくなったわけではないので、改めて事業者を選定し直すこととなります。保護者の方にとっては、既に合同保育が4、5、6月と進んでいる中で、突然のことでしたので戸惑っておられます。8月に入って市の説明会を3回させていただきましたが、次のステップに進める状態ではないので、これから丁寧にやっていきますとお伝えするだけで、次の事業者募集の計画など今はお話できていない状況です。

まだ民営化の計画は続いていますので、皆さんにお伝えすべきことについては情報提供をさせていただきます。今後も三者懇談会を開催して、いろいろな御意見を聞かせていただきながら丁寧に進めさせていただきます。

6 閉会

吹田市： 本日はこれで三者懇談会を終了いたします。

次回の開催につきましては、こばと会や保護者会会長と調整させていただきます。本日は御参加いただき、ありがとうございました。

※1 補足

令和元年9月13日の三者懇談会開催時点において、国から示されておりました副食費相当額の減額については、9月18日に内閣府厚生労働省からの通知により、5,181円とすることを見送り、4,500円にとどめることが示されました。